

## 安全へのこだわり



衝撃をかわせなければ、衝撃エネルギーをヘルメットの内側で  
すべてを緩衝しなければなりません。

でも、現実では、障害物に最初に当たるシェルが衝撃をかわし、  
エネルギーを外へ分散することができます。

真っ先に当たるシェルが行う『かわす』という大きな役割。

現実の衝撃に対処するうえで大切な要素です。

アライのすべてのモデルは、規格により定められた頭部保護範囲において  
衝撃をかわすのに最適な、丸い頭に沿った

**75R以上の球面の連続した滑らかなフォルム**を固守しています。

ヘルメットを構成する3大要件は、シェル、ライナー、チンストラップです。

それに続く**第4の要件『R75』**、アライの安全へのこだわりです。

**ヘルメットは、衝撃を『かわす』ことが重要だと  
アライは考えます。**